

2015 年度
理工学部グローバルスタディーズ
ハワイ大学研修報告書



2015年度 理工学部グローバルスタディーズ・ハワイ大学研修報告書

内容

1. 本研修の概要	1
2. マウイ校 (MLI)・マノア校における教育プログラムについて	2
3. マウイ校 (MLI) における授業について	
3. 1 1週目の授業 (午前) について (小國)	3
3. 2 1週目の授業 (午後) について (羽石)	4
3. 3 ハレアカワ・マノア溪谷遠足について (月館)	5
3. 4 2週目の授業 (午前) について (2名 阿部,古川)	7
3. 5 2週目の授業 (午後) について (土屋)	8
3. 6 修了式・パーティについて (佐久間)	9
4. マウイ校における授業以外の過ごし方について	
4. 1 ホームステイについて (寺島)	11
4. 2 昼食時間・授業後の過ごし方 (中山)	12
4. 3 週末の過ごし方 (宇津木)	13
4. 4 学生との交流会 (斉藤)	14
5. マノア校における授業等について	
5. 1 1日目の授業について (今井)	15
5. 2 2日目の授業について (鈴木)	17
5. 3 授業以外の大学での過ごし方 (加藤)	17
5. 4 ホノルルでの過ごし方 (金枝上)	19
6. ハワイ渡航の際の注意点 (林崎)	20

1. 本研修の概要 担当：樫山和男・山村寛

本研修は理工学部の学部学生を対象として、学科共通科目として本年度から実施するものである。

1. 1 研修の教育目標

海外研修プログラムを正規科目として展開し、英語運用能力の向上および多文化理解への機会を提供することで、グローバルな視点を持った理工学部学生の養成を行うことを目的とする。

1. 2 研修開催地

ハワイ大学の2つのキャンパスにおいて実施する。具体的な実施場所は以下の通りである。

ハワイ大学マウイ校：Maui Language Institute

ハワイ大学マノア校：工学部

1. 3 研修期間

2015年8月30日（日）～9月17日（木）：19日間

1. 4 参加者の構成

本研修には16名の学部学生が参加した。学科別内訳、学年別、男女別内訳は以下の通りである。

学科別内訳

都市環境学科 8名

経営システム工学科 3名

人間総合理工学科 3名

応用化学科 1名

生命科学科 1名

学年別内訳

1年生：5名

2年生：4名

3年生：4名

4年生：3名

男女別内訳

男子：10名

女子：6名

2. ハワイ大学マウイ校 (MLI) ・マノア校における教育プログラムについて

マウイ校では、英語教育に重点をおいた2週間(8月30日~9月12日)のプログラムであり、日程表を以下に示す。午前は教室での通常授業、午後は課外授業が行われた。

第1週は、中央大学理工学部の参加学生のみでの授業が行われた。また、第2週はプレースメント試験に基づき2レベルに分かれて、Maui Language Instituteの一般学生のクラスに編入して授業が行われた。

Week 2												
Maui Language Institute Chuo University August 30 - September 12, 2015												
7-Sep	Mon				LABOR DAY, no school.							
Week 1												
30-Aug	Sun	Arrival, meeting host families.										
				8-Sep	Tue	9:00 10:30 12:10 1:30 2:00	10:20 11:50 1:30 2:00 4:30	MLI Orientation MLI MLI Lunch Waste Water Treatment: Tour				
31-Aug	Mon	9:00 10:30 12:10 1:30 2:30	10:20 11:50 1:30 2:30 4:00	MLI MLI MLI Lunch Campus Tour				9-Sep	Wed	9:00 10:30 12:10 1:30 2:00	10:20 11:50 1:30 2:00 4:30	MLI MLI MLI Lunch Excursion: Sugar Museum
1-Sep	Tue	9:00 10:30 12:10 1:30 2:00	10:20 11:50 1:30 2:00 4:30	MLI MLI MLI Lunch Excursion: Maui Ocean Center				10-Sep	Thu	9:00 10:30 12:10 1:30 2:00 4:30	10:20 11:50 1:30 2:00 4:30 9:00	MLI MLI MLI Lunch Free Time Cultural Excursion: Lu'au
2-Sep	Wed	9:00 10:30 12:10 1:30 2:00	10:20 11:50 1:30 2:00 4:30	MLI MLI MLI Lunch Seminar: Historical Lahaina				11-Sep	Fri	9:00 10:30 12:10 1:30 4:00 5:00	10:20 11:50 1:30 4:00 5:00 8:00	Hula Hawaiian History Lei Making Free Time Set-up party Certificate Ceremony and Aloha Party
3-Sep	Thu	9:00 10:30 12:10 1:30 2:00	10:20 11:50 1:30 2:00 4:30	MLI MLI MLI Lunch Interactions with UHMC Students				12-Sep	Sat	Departure		
The price of the program includes all the following:												
4-Sep	Fri	8:00	6:00	Haleakala, Iao Valley, Lahaina Excursion								\$990 per student
						Tuition fees						
						Administration fees						
						Application fees						
						Materials fees						
						Excursion fees						
						Workshop fees						
						Transportation fees						

マノア校では、工学部において2日間(9月14日、15日)の研修を行った。以下に日程表を示す。

Sep. 14

10:15-11:45 Introduction of University of Hawaii, and College of Engineering

11:45- 13:30 Lunch

13:30-15:00 Lecture on Science and Engineering I (Environmental problem)

Sept. 15

10:15-11:45 Lecture on Science and Engineering II (Energy problem)

11:45- 13:30 Lunch 13:30-15:00 Tour of Engineering Lab.

15:00-17:00 Interaction with UH student

3. マウイ校 (MLI) における授業について

3. 1 1週目の授業 (午前) について 担当: 小國 翼

初日、ホストファミリーが私たちを車で大学まで送ってくださっている時に、虹を見ることができました。ハワイが私たちを歓迎しているようでした。

1週目の授業は中央大学の学生だけでやります。

最初のハワイ大学マウイ校での授業は、ハワイの7島の名称から勉強していました。ビッグアイランドと呼ばれるハワイ島をはじめ、マウイ島、カウアイ島などがどの島であるかを学びました。

また、風船を膨らまして、そこに隣にいる人の似顔絵を描きました。そして、似顔絵を描いた人の情報 (年齢や好きな食べ物等) を聞き、風船に書き入れます。最後に、その風船をみんなに見せながら聞いた内容を発表しました。

その後、大学から5分ほど歩いて、**QUEEN CENTER** というショッピングモールで昼食を食べました。昼食は、みんなと分かれて食べて、自分の食べたいものを食べます。私は、友達3人と檜山先生とコーディネーターの Akari さんと食べました。私は、ガーリックシュリンプをおすすめします。

Maui Ocean Center に行くので、そこにいる魚の名前などを事前に勉強していきました。先生からプリントをもらって勉強します。

“L”と“R”の発音の練習の授業もありました。先生は、2つの発音を簡単に使い分けることが出来ますが、私たちはとても苦戦しました。みんな声に出して練習しました。とても丁寧に教えてくださりました。具体的には、**light**と**right**の発音を試みたり、“L”と“R”を使って **tongue twister** の文を読んでみたり、自分たちで文を作ったりもしました。とても勉強になりました。

1日使って、ハレアカラとイアオバレーにも行きました。ハレアカラの頂上まではバスで行き、周辺を散策します。若干寒さはあるので、ジャージやパーカーを着ると良いと思います。ハレアカラはとても眺めがきれいで、マウイ島を一望出来ました (写真)。また、ハワイの大自然に触れることが出来ました。イアオバレーに行く際は、虫よけスプレーがあると良いと思います。



1週目の午前は、外に出て何かをやるというよりも座学が多かったと思います。たくさん のことを学ぶことが出来る貴重な時間でした。

3. 2 1週目の授業（午後）について 担当：羽石 亮太

8月31日(月) Game with Chuo Student

予定ではキャンパスツアーとなっていたが、中央大学生の仲を深めるため、英語になれるためにゲームを午前中に引き続き行いました。そのゲームの内容としては、ハワイ大学の先生がランダムに2人のペアを作り、そのペアで1枚の絵が与えられ、その絵を見てその絵の内容を3文の英語で他のペアに説明をするというルールของเกมでこのゲームを2セット行いました。

9月1日(火) Maui Ocean Center

午前中の授業終了後、バスに乗り、Maui Ocean Center へ向かいました。水族館では事前に渡されたプリントを携帯しながらそこに記載してある問題を2人1組で水族館をめぐるながら解くという方式で2時間程、散策しました。プリントの問題はグループ毎に異なっていて係りの人に答えを聞くことは禁止されていました。基本的に時間内は自由行動でひたすら答えを求めて歩き回りました。残り時間はお土産を買う時間や水族館を観光する時間に当てることができました。

9月2日(水) Campus Tour

初日に実施するはずであったキャンパスツアーをこの日に実施しました。夏休み中であつたのにも関わらず、キャンパスは学生であふれかえっていました。ツアーの中では、図書館・視聴覚室・体育館などを見学しました。その途中でもハワイ大学・ハワイの歴史も解説していただいたため、とてもためになるキャンパスツアーでした。

9月3日(木) Party with UHMC students

午後に昼食もかねてハワイ大学の日本語専攻の学生との交流としてパーティーを実施しました(写真)。パーティーの内容は最初の15分は英語を用いての会話、残り15分は日本語を用いての会話を4セットという形でテーブルごとに会話を楽しみました。ハワイ大学の学生は日本語専攻ということもあり、日本の文化として「漫画」をよく知っていて会話が弾みました。また、ピザ・ジュースも用意してあったのでアットホームな雰囲気を実施することができました。また別れ際に Facebook の交換もできたのでその後も連絡を取り合うことができました。



9月4日(金) Haleakala , Iao Valley , Lahaina

この日は、AM7:20に大学のロビーに集合し、AM7:30に出発をして Haleakala Mountain へバスで向かいました。頂上付近まで連れて行ってもらい、そこから頂上まで登山をするという流れでした。頂上付近は平地にいるときよりも気温が低く、上着が必要でした。雨が降った次の日だと地面がぬかるんで歩きにくいようでしたが、当日は運がよく、地面が乾いており、登山しやすかったです。



天気もよく、景色もきれいにみることができました (写真)。登山後は、またバスに乗り Lahaina へ向かい、事前にコーディネーターの Akari さんが予約をしてくれていたサンドウィッチを食べ、1時間ほど自由時間として観光をしました。その後、バスで Iao Valley へ向かいましたが、ここで雨が降り出してしまいました。そのため傘をさしての観光となりましたが、引率の先生の解説もあり楽しむことができました。

3・3 ハレアカラ・マノア溪谷遠足について 担当：月舘 瑞姫

第一週目金曜日、研修が始まって6日目の9月4日、私たち中央大学理工学部ハワイ研修メンバーは、ハレアカラ と イアオ溪谷 へ行きました。

ハレアカラはマウイ島で最も高い3,055mの標高を持ち、島のどこからでも見ることができます。ハレアカラとはハワイ語で「太陽の家」という意味で、日の出、夕日、満天の星空を臨むことのできるスポットとして有名です。天気の良い日に見る景色は神秘的で、同じものは二度と見ることができないとされており、忘れられない思い出になるでしょう。私たちの留学生アシスタントである Akari さんは、毎年必ず自分の誕生日の朝にハレアカラに登り、朝日を臨むと言います。このように地元の人々からも大切に思われている山です。

ハレアカラ国立公園にはたくさんの絶滅危惧種が生息しており、ネネという鳥やアヒナヒナという草（シルバーソードとも言う）を見ることができます。今回は残念ながらネネを観測することはできませんでしたが、アヒナヒナはいくつか見ることができました。アヒナヒナはとても変わった形をしていて根元にボンボンのような草を生やし、その上にとろもろこしのような形の花？をつけていました。(写真)



ハレアカラへはスクールバスで行きました。ウネウネと曲がりくねった道をぐんぐん進んで行き山頂を目指すのですが、バスの窓から臨む景色がとても絶景で、バスガイドのとても陽気なおじさんの案内もとても面白かったです。また、このバスの中で先輩方と交流もでき、とても仲良くなることができました。

山頂に到着し、待ちに待った観光です。事前に防寒着を持って来いと強く言われていましたが、実際には予想していたよりもかなり気温は高かったです。事実、外国人はノースリーブに短パンという格好の人もありましたし、バスの中もさほど寒くはありませんでした。ちなみにみんなの格好はこんな感じでした。(写真)



少し斜面を登り、景色が開けてくると、山頂に着きます。その絶景と云ったらそれはもう“素晴らしいの”一言にかぎります。

絶景を存分に楽しんだ帰りのバスでは皆死んだように寝ていました。続いて昼食です。昼食はマカワオで事前に予約してもらっていたサンドイッチを食べました。とてもボリューム満点でおいしくいただきました。(写真)

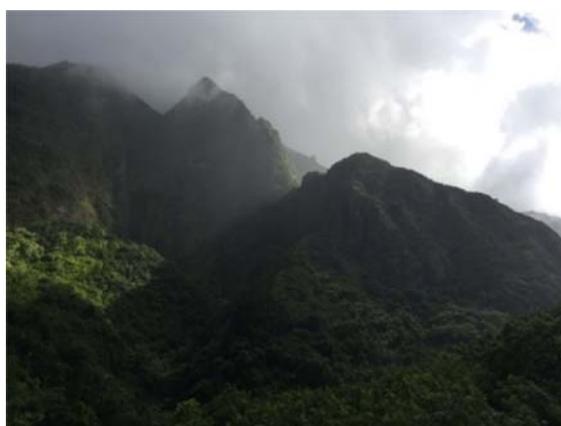
余った時間でショッピングを楽しみました。マカワオは値段が高いお店が多く、お土産は買えませんでした。ですが、かわいいお店が沢山あるので楽しむことができました。

ちょっと寄り道を挟んでイアオ溪谷へ行きました。このときちょうど雨が降り出してしまい、足場が悪い状態での観光でした。散策中、大学の先生がクワバという果物を採って私たちに配ってくれました。まだ熟れておらずとても渋かったのですが、自然の果物を食べることができ、とても貴重な体験になりました。

進んで行き階段を上ると、イアオ溪谷の絶景を臨むことができます。丁度雨が止んだ時だったので、雲と山の幻想的な景色を見ることができました。(写真)

ここでの注意として、虫除けを持っていくことを強くお勧めします。あるいは長袖長ズボンで行くことをお勧めします。モスキートが大量にいます。私は6か所刺されました。とてもかゆくてその後とても大変でした。

以上、ハレアカラ、イアオ溪谷の報告でした。



3.4 2週目の授業（午前）について

担当：阿部 祐菜

マウイ校での2週目は長期留学生と共に午前中に授業を受けました。私が受けたクラスは日本人8人と韓国人、中国人、ドイツ人、コロンビア人が一人ずついました。

最初に受けた授業は **Cultural Literacy** というクラスでした。1週目に受けた授業より先生の英語を話すスピードが早く、また長期留学生と先生のやり取りもすごく早くてついていくことが精一杯でした。そして、次に受けた授業は **writing** です。音楽を聞いて、動画を見てエッセイを書くという授業でした。歌も動画も全然英語が聞き取れなくてエッセイがうまく書けませんでした。しかし、長期留学生のエッセイを見るとたくさん書いてありました。それで私は刺激を受けました。次の日の授業では長期留学生と交流する機会が多かったです。自己紹介や、話題を決めてディスカッションをしました。その授業のおかげで長期留学生と仲良くなり、授業以外の時間でも英語で会話するようになりました。また、お互いの国の文化についても話ることができました。英語のコミュニケーションで知識が増えるというとても貴重な経験をしました。そして、文法の授業では初めて英語で文法を学びました。英語の授業で英語を学ぶということに今まで違和感がありましたが、実際に授業を受けてみるとテキストにもイラストや例文をたくさん用いてとても分かりやすかったです。そして、この文法を使って席の近い人と会話をして文法を覚えるということもしました。日本で授業を受けるよりも覚えやすいと思いました。

長期留学生とともに授業を受けることによってたくさん刺激を受け、そして英語力の上がるスピードも日本にいるときと比較しても明らかに早かったです。そして、外国人の友達が増えることによって、今後もチャットとかで会話などもできるのでこれからも英語の勉強が続けられます。違う言語を使う人と一緒に英語という共通言語で授業を受けるという貴重な経験が出来てよかったです。ただ、もう少し長い期間で授業を受けたかったです。

担当：古川 輝

2週目は **advance** クラスと2つの **regular** クラスの計3つのクラスに分かれて授業を受けた。ここでは **regular** クラスについて話をする。

この週は1週間目違い、通期で **MLI**に通う生徒たちと一緒に授業を受けました。僕のいたクラスは中大生4人、**MLI**の生徒5人といった具合になっており、1週間目よりも緊張感のある環境で授業を行った。

授業内容は **grammar/reading/writing/cultural literacy/speaking and listening/film studies** と分かれている。**Writing**の授業では屋外に出て五感で感じたことを書き連ねていたり、アロハパーティでのスピーチ内容を書いたりした。それ以外の授業は授業のテー

マに沿った内容についてクラスメイトと会話する授業が多く、生徒を 2,3 人のグループに分けてグループごとに相談したり、質疑応答しあったりした。例えば、**grammar** の授業ではより多くの品詞を探すゲームをして、**cultural literacy** の授業ではマウイ島についての情報をマウイのことをよく知るクラスメイトから聞き出すといったことをした。**film studies** の授業では英語字幕ありで映画を見てその内容をしっかり把握するという授業を受けた。どの授業も実践的に英語を使わせる内容になっていて、生徒をたいへん考えさせるものである。

この週は、耳が正しい英語にかなり慣れている MLI の生徒と一緒に授業を受けていたので発音が日本語っぽい英語をしゃべると言葉がちゃんと伝わらないこともあり、英語の発音にも気を使った。

MLI の生徒はアジアを中心に様々な国から来ているので、様々な国の人と接することができる貴重な機会だった。

3. 5 2週目の授業（午後）について 担当 土屋 慎之介

火曜日にマウイのキヘイにある下水処理場に行きました。これは環境を専門に学んでいる学生にとっては興味深い内容でありました。非常に暑い日で、臭いにも圧倒されましたが、段階を追って水が浄化されていくプロセスを間近で見ることができ、また職員の方にも各場所で話をさせていただき、とても貴重な体験となりました。

水曜日には同じくキヘイの **Sugar Museum** に行きました。ここでは砂糖の製造方法と砂糖を通したハワイの歴史について学びました。建物に入る前に職員の方から製造についてお話をさせていただき、その後建物に入って歴史の詰まった品々を見学しました。またショートムービーも見ました。帰る際には黒砂糖とサトウキビをいただきました。

木曜日にはルアウショーを見ました。夕方から参加しましたが、ハワイ伝統のフラダンスをはじめ、火を使った踊りも見ることができました。伝統料理をビュッフェスタイルで味わいながら、ハワイの文化を肌で感じるができるショーでした。また近くに高級そうなホテルが立ち並び、そこも見学することができたため周りを散歩しました。広大な敷地にプールや岩のオブジェ等が立ち並び、夕日はいい景色でした。

金曜日は授業がなく、午前中に軽いキャンパスツアーを行った後、ハワイの歴史についてのビデオを見ました。その後昼食をとってから、レイというネックレスをみんなで作りました。各々器用不器用がでて、思い思いのレイを作りました。その後自由時間を過ごした後お別れパーティーをしました。MLI の学生が少し来てくれて、各自のホストファミリーも集合しました。ピザ等の軽食をつまみながら談笑をした後自分たちのスピーチをしました。1人3分くらいでしたが、各自がマウイで感じたこと、成長したこと、楽しんだこと、そしてなによりホストファミリーへの感謝の気持ちを、学んだ英語を使って述べました。最後に修了証書をもらいみんなで記念撮影をしました。改めてマウイでの生活が終わるのだとしみじみと感じました。

最終日は午前中に各々がホストファミリーに空港まで送っていただき、最後の別れを告げてマウイを発ちました。

ホストファミリーに日本からのお土産を持っていったところ喜んでくれました。別れにサプライズプレゼントをしても喜んでくれました。

3. 6 修了式・パーティーについて 担当：佐久間 美幸

MLI での 2 週間に及ぶ語学研修の後、マウイ滞在最終日に修了式が開催されました。まず、はじめに各家庭から持ち寄った食べ物を分け合ってホストファミリーとの交流を行いました。この二週間を通して MLI で学んだこと、週末家族でしたことなど思い出話を花を咲かせながら最後のホストファミリーとの時間を惜しみながら会話を楽しみました。(写真)



食事も終わりかけるころに各生徒の英語によるスピーチが始まりました。先頭をきったのは 4 年生の加藤さんです。身振りを交えた堂々とした語りでホームステイ先での出来事を話しました。加藤さんの堂々とした発表に皆の意識が変わったのがはっきりと感じ取れました。(次ページ写真)



それ以降のみんなも素晴らしい発表をすることができました。MLI での興味深かった授業、課外学習、マウイカレッジの生徒との交流会、週末ホストファミリーとの思い出などを英語で発表しながら思い返しました。みんな同じプログラムを体験したけれども感じ方が人それぞれで興味深かったです。最後にはこの 2 週間の伝えきれない感謝をスピーチに載せてぶつけました。時折笑いあり、時折感動の涙ありで全体のスピーチを通してとても素晴らしいものになりました。(写真)



少ししんみりした雰囲気になったのも束の間、皆が待ちに待っていたフラ体験の時間が始まりました。鏡の前でフラの先生の指導を受けながらその振りを身振り手振りで真似しました。フラはゆったりとした動きで一见、楽そうですがやってみると意外と足腰を使うので息が切れてしまいました。しかし、一連の動きが完成するととても嬉しくてもっとやりたいという感情が湧いてきました。他のみんなも難しくて苦戦したり、おかしな動きになってしまって笑ったり、真剣にやったりしてそれぞれ楽しんでいたように思えます。

フラの体験後、卒業証書授与式が行われました。みんな最高の笑顔で卒業できました。



4. マウイ校における授業以外の過ごし方について

4. 1 ホームステイについて 担当：寺島 瞭平

私は、2人で1つの家族の家にホームステイしました。私たちのホストファミリーは9歳の女の子と3歳の男の子を含めた4人家族で、とても賑やかな家族でした（写真）。ただ、年齢から考えてもわかるように子供たちがものすごくわんぱくで私たちは振り回されてばかりでした。勝手にかばんの中身をゴチャゴチャにされたり、物を隠されたり、物を壊されかけたりとやられたいたずらは数え出したらきりがなく、また、遊びもアメリカらしく豪快で水や砂をかけられることは日常のことのようでした。当時はものすごく手を焼きましたが、今となってはよい思い出であり、そういったやり取りの中で子どもたちと本当の兄弟のように親しくなることができましたと思います。



ホストファミリーは本当に優しく、放課後、休日にはいろいろなところに連れて行ってくれました。私の中でも特に印象に残っているのは、休日に2泊3日でビーチにキャンプに行ったことです。まず、初日の昼に食べたパティを炭火で焼いたチーズバーガーが絶品でした。その後は、子供たちと水切りをして遊んだり、泳いだり、釣りをしたりしました。夜にはホストファミリーの知り合いも来て、15人ぐらいでバーベキューをしました。出てくる料理はどれもおいしく、ホストファミリーと会話するなどリラックスしながら楽しむことができました。また、夜遅くにこっそりテントを抜け出して見た夜空は周囲に光がなく、また、空気がきれいなためか、今まで見たことないような数の星を見ることができました。



ホームステイした2週間の間にホスト

ファミリーは英語が上手くない私にも積極的にコミュニケーションを取ろうとしてくれました。また、私が言ったことを理解できないような場合には、何度も繰り返して言ったり、簡単な言回しに直してくれたりしてくれました。そのおかげで、プログラムの後半には笑いあいながら会話ができるようになり、本当の家族のような絆を築くことができました。今でも LINE でやり取りしていて、来年初めて日本に来るそうなので、そのときまでにもっとスムーズに英語を使えるようになり、ホストファミリーを驚かせたいです。

4. 2 昼食時間・授業後の過ごし方 担当：中山 怜奈

昼食時間は皆で大学近くにあるショッピングモール2階のフードコートに行き、各々買って食べたり、大学のカフェテリアでラーメンを注文して食べたりと毎日様々な方法で昼食をとっていました。カフェテリアの前には移動式のフードトラックも止まっており、ハワイ大学の学生から聞いたオススメのランチプレート頼んで食べたこともありました。ハワイのランチプレートは値段が高い代わりにボリュームがあるので、いつも友達とシェアをして食べていました。食べ物の種類はロコモコやBBQ ビーフ、シュリンプなどとても種類が豊富で毎日昼食が楽しみでした。(写真)



また、ホストファミリーが昼食を作ってくれ、それをランチパックに詰めて持って来ている学生も多く見受けられました。2週目の授業はMLIの生徒と一緒に授業を受けていたので、午前の授業後一緒に昼食をとったりもしました。MLIの友達とは、日常生活で困った時にどのような英語を使えばいいのか(例えば、自分の荷物を他人に見ておいてもらう時のお願いの仕方)を教えてもらったり、次の授業の宿題について話したりしていました。

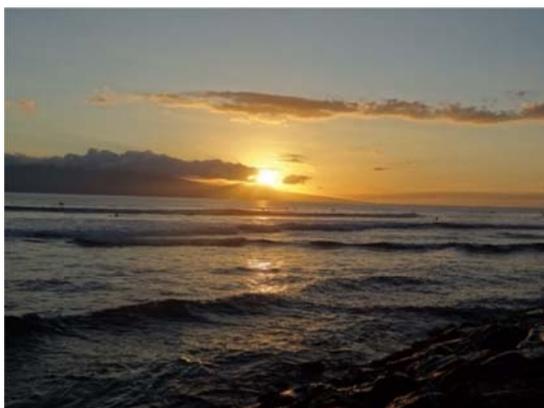


授業後は、各々ホストファミリーとの時間を過ごしていました。私はホストマザーと大型スーパーに行き、夕飯の買い物をして帰ることが日課でした。また、ある日には山の中腹にあるサンセットが綺麗に見える公園に行き、サンセットを見ました（写真）。ダウンタウンを一望しながら水平線に沈む太陽を見ることができ、とても幻想的で綺麗でした。他のホストファミリーでは、曜日限定で開催されるお祭りに参加したり、キヘイという有名なビーチに行ったりしたという家庭もあり、それぞれが充実した放課後を過ごしていました。



4. 3 週末の過ごし方 担当：宇津木 春菜

マウイに滞在中、私たちは土曜、日曜、月曜の3日間の休日がありました。土曜日の午前中は、ハワイ大学の敷地内で行われるフリーマーケットに行ってきました。たくさんのお店があり、雑貨から食べ物までたくさんの商品を売っていました。値段もお手ごろなので、お土産をまとめて買いたいという人にはとてもおすすめです。お昼は近くのお店でとり、かき氷を食べました。“Shave Ice”というかき氷屋さんのかき氷は最高でした。午後は近くのビーチに行って泳ぎました。波が高かったため、少し危険でした。家からサンドイッチを持って行ったため、ご飯を食べながらサンセットを見ました（写真）。



ホストマザーの祖父にあたる人が、私たちがハワイに到着する1週間前に亡くなったため、日曜日の午前中は彼のお祈りのためにホストマザーの実家に行ってきました。彼の灰が入った箱を中心として参列者は席に着きました。お祈りの間、祈祷師は薬と水で作った液体に大きな葉をつけ、その葉を参列した人全員の手に付けて一人ひとりにあいさつをしていきました。日本とハワイの文化の違い

をととても感じた貴重な経験となりました。午後は、ハワイ大学の近くにあるショッピングモールで買い物をしました。大きなお店がたくさんあるため、買い物好きな人にはおすすめです。月曜日は祝日でした。その日は、ホストファミリーと一緒に一日中ビーチに行っ

てきました。ホストマザーの仕事上の知り合いも、このグローバルスタディーズのホストファミリーをしていたため、2家族でビーチに行きました。他のホストファミリーと話す機会が出来て、とても良い経験となりました。家に帰った後、私たちはホストファミリーのためにちらし寿司を作りました（写真）。私たち自身ちらし寿司を作った経験もなく、上手にできるかどうか、また、ハワイの人たちの口に合うかどうか、などを考えると不安でいっぱいでした。しかし、予想以上にホストファミリーが喜んでくれたため、とても嬉しかったです。ホームステイをした際には、私たちが外国の文化を学ぶだけではなく、ホストファミリーにも日本の文化を知ってもらうよう努力することが、相互の文化を理解するうえで大切なのではと思います。



他のホストファミリーの週末も、ラベンダー畑に行ったり、キャンプをしたり、サーフィンをしたりとたくさんの経験をしたそうです。これから短期留学に行こうと考えている人は、週末にはどこに行きたいのか、何をしたいのかななどをあらかじめ考えておくと、短期留学の楽しみも広がると思います。

4. 4 学生との交流会 担当：齊藤 萌子

9月3日の午後、私たち中央大学の生徒はハワイ大学の学生（UHMC students）と交流をしました。彼らは日本語を専攻している学生でした。皆片言ながらも日本語を一生懸命話していましたが、中には日本語の勉強を始めたばかりで、まだ自分の言語力に自信が無く、英語でお願いしますと言う学生もいました。

交流会では、ピザや寿司などの軽食が用意されており、それらを食べながら4～5人のグループになってお話をしました。最初は英語を使って会話をし、10分後に日本語を使った会話にチェンジしました。そして1グループ20分のトークを終えるとハワイ大学の学生が席を移動してくれて、新しいグループでのお話がスタートしました。（写真）



英語での会話ではハワイ大学の学生がよく質問をしてくれたので、私たちはそれに答え、あなたはどうか？と質問を返すことが多かったです。自己紹介や趣味の話をした後、今までに行ったことのある外国の話をしました。ハワイ大学の学生はたくさんの国に旅行に行ったことがあり、日本に来たこと

があると言う学生もたくさん居ました。日本では、秋葉原・原宿・京都・広島に行った人が多く、その時の写真を見たりしながら話を楽しそうにして聞かせてくれました。

次に日本語での会話のターンになりましたが、これにはかなり苦戦しました。なぜかという、私たちが日本語で質問をする場合、正しい日本語の選び方と言葉の並べ方が私たち自身もわからなかったからです。例えば「日本食で好きな食べ物は何ですか？」という聞き方は伝わらないけれど「日本の食べ物で何が好きですか？」と言うと理解してくれました。その時私は外国での日本語の授業がどのようなものなのか興味がわきました。

ハワイ大学の学生は皆、日本にとっても興味がありました。多くの学生が日本のアニメやキャラクターが好きで、日本語の学習を始めたと話していました。彼らは自分のお気に入りのキャラクターのストラップを付けたり、Tシャツを着たりしていました。日本語で「一番」と書いたはちまきをしている元気な学生がいたことが印象的でした。ハローキティが好きで、大学の近くにあるサンリオショップでアルバイトをしている学生や、漫画家になることを目指しており、自分で書いた日本の漫画の絵を見せてくれる学生もいました。何人かの学生とは Facebook など連絡先を交換し、マウイを去るときや日本に帰って来てからも連絡を取り合っています。私たちが MLI を卒業するときのアロハパーティに来てくれたキウィという学生はとても優しく、私の大切な友人のひとりになりました。

短い時間の交流ではありましたが、とても良い経験と出会いがあり、必ずまた会いたいと思っています。

5. マノア校における授業等について

5. 1 1日目(9月14日)の授業について 担当:今井 啓太

当日の日程は以下の通り

9:00-10:00 Campus Tour

10:15-11:45 Introduction of University of Hawaii, and College of Engineering

11:45-13:30 Lunch (Chuo students will go to the Cafeteria by each other)

13:30-15:00 Lecture on Science and Engineering (Energy Problems)

(1). Campus Tour

- ・マノア校のキャンパスが、マウイ校よりもさらに広いことに驚愕した。
- ・様々な国の学生が、キャンパス内を行きかっていた。

(2). Introduction of University of Hawaii, and College of Engineering

- ・ハワイ大学とエンジニアリングカレッジについての説明を受けた。

(3). Lunch (Chuo students will go to the Cafeteria by each other)

- ・昼食代は約 6~9\$ であった。若干高めに感じたのと、量も多めだったので、昼食は持参の方がよいと思った。
- ・あの場に全員集まることが出来なかったのも、あらかじめどこか場所を確保しておいた方がよいと思った。



食堂・生協のある建物

(4). Lecture on Science and Engineering (Energy Problems)

- ・ハワイにおけるエネルギー、主に発電、送電についての講義。
- ・ハワイの地形と、地質がエネルギー供給に及ぼす影響。
- ・アメリカの中でもハワイは電気代が高い。
- ・全体的に都市環境向けの色が強かったため、興味を持つ学生と興味を持っていない学生が出てきてしまった印象があった。



講義中の風景

・全体を通して、マノア校で通常が開講されている講義に参加したいと思った。その際に、いくつかの候補から選択できるようにすれば、いろいろな学科の学生が集まっても、それぞれが興味のある内容を聞くことが出来ると思う。

5. 2 2日目の授業について 担当：鈴木 隆正

1. Lecture on Science and Engineering II (免振・制振、センシング技術)

2日目の授業は免振や制振技術のお話から始まりました。慣れない英語による難しい講義でしたが、できるだけ多くのことを理解できるよう聞き取れたキーワードをノートに書き留め、表示されるスライドと照らし合わせながら理解できるよう努めました。特に、免振技術に用いられるダンパーの粘性流体に関するお話は、応用化学科の私にとっても興味深く、質問コーナーでそのことに関してお聞きすることができたので、大変勉強になりました。私の専攻は化学工学なので、こうした建築技術に関するお話は自らの知識の幅を広げられるという意味で、とても貴重な体験ができたと考えております。

2. Tour of Engineering Lab

ハワイ大学のチョイ先生の案内により、建築材料の耐久性に関する研究を行っている研究室や、医療分野における手術用機械の研究室などを見学させていただきました。手術用の機械の研究を行っている先生のお話の中では、コイル状に巻かれた複数の導線ユニットの上で、宙に浮いたまま自在に移動するマグネットの様子を紹介していただきました。この研究室では他にも遠隔操作に関する研究も行っており、学生たちからは様々な質問が飛び交いました。普段目にすることができない研究の数々を見学することができ、充実した研究室ツアーとなりました。

3. Interaction with UH student

このハワイ大学の学生たちとの交流会は、本留学プログラムの中で最後の英語を使ったコミュニケーションの場でした。短い期間ではありましたが2週間のホームステイで得た経験を活かし、積極的に会話に参加することで、ハワイ大学の学生とも徐々に打ち解けることができました。この交流会には、中央大学生命科学科からの交換留学生も参加しておりました。彼の話す流暢な英語に圧倒されつつ、私自身も刺激を受ける、そんな有意義な交流会となりました。

5. 3 授業以外の大学での過ごし方 担当：加藤 皓也

本レポートでは、ハワイ大学マノア校内で過ごした休み時間や放課後について、私個人の体験から報告をさせていただきます。

私が初めて見たハワイ大学は、まさに別世界でした。正確に心情を記述すると、別世界であると思ふほどの衝撃を受け、混乱してしまいました。端的に心境を記述すると、カルチャーショックを受けた次第です。

旅好きな私は、今まで日本国内で多くの観光地を巡ってきましたが、初めて見たハワイ大学マノア校は他のどの観光地よりも一段と驚きと感動に満ちていそうな新天地でした。その新天地への期待度は、例えば金脈を目の前にした採掘者のように、本能に突き動かさ

れるレベルにまで達していたほどです。しかし、私に与えられていた自由時間は、登校日である二日間の休み時間と放課後のみ。どうにか湧き上がる衝動を抑えながら、できる限り満足感の高い体験ができるよう計画的に空き時間を使って、私は友人らとともにセルフキャンパスツアーを敢行しました。

1日目、まず真っ先に訪れたのは生協でした。何といても、マノア校の生協は驚くほど広い。そんな敷地の4割は占めていただろう広さに置いてあったのが、ハワイ大学関連のグッズでした。そして、たかが大学グッズだと侮るなかれ、垢抜けたハワイ大学グッズは、有名ブランドと提携していたり、若者心に購買欲を刺激される商品ばかり。(ただし近くのドン・キホーテで買ったほうが安いグッズも...)しかし、私が生協に来た狙いは別にありました。それはハワイ大学の在学生向けに売られている教科書です。異国の地であるハワイ大学で、特に自分の専門とする学問の領域がどのように勉強されているのか、何かの参考にならないかという動機を持っていたのです。しかしながら残念なことに、その日は教科書売り場がクローズしており、念願の本たちには見ることも触れることもできず。そこで次に向かったのが、図書館でした。



マノア校の図書館は生協の規模に負けず劣らず、もとい圧倒的に勝利を収めるであろう敷地面積を持っていました。また、一般入場も許可されており、私は水を得た魚のように無我夢中で本の海を泳ぎ回ってしまいました。ただ、マノア校の図書館には細かい案内板が無く、目当てのジャンルの本を探すのには苦勞しました。そうして読みたい本を探しながら、現地の先端技術書を読み耽り、様々な原著論文に触れ、時間いっぱいまで有意義な一時を過ごしていました。結果的に教科書類を見つけることはできなかったものの、思い出すところ、この図書館での一時が、私にとっての最高の思い出であったように感じています。

また、一日目と比べて極短い時間ながら、二日目も各研究室の研究ポスターを覗いたりなど、連日通して非常に充実した空き時間を楽しむことができました。もちろん研修プログラム内の講義も大変興味深かったのですが、自分から出会っていった知識はより尊いものとして、様々な形でこの身に残っていくように思えるのです。唯一の思い出としては、

各研究の下調べ無しにほぼ当てずっぽうで行動してしまったことでしょうか。もし次の機会があるものならば、さらに濃厚な知見を持ち帰られるよう、工夫を徹底したいものです。

5. 4 ホノルルでの過ごし方 担当：金枝上 英明

ホノルルでの移動手段は、基本的にバス、タクシー、徒歩のいずれかでした。大学とホテル間などで使用するバスの運賃は、一律 2.5 ドルでした。おつりは出ないので、あらかじめ 2.5 ドルをぴったり用意したり、2 人で 5 ドル用意したりしていました。タクシーは、日本のように流しでは走っていないので、必要に応じて各自で呼ぶ必要がありました。また、7 人乗りのタクシーもあったので、大人数で過ごす際にも便利でした。あまり交通費をかけたくない方人や道沿いのお店に行きたい人などは、徒歩での移動もしていました。基本的に街中ではインターネットに接続できなかったのも、現在地を調べる際には、ガイドブックなどを使用していました。

時間のある時は、ダイヤモンドヘッドやビーチ、ショッピングなどに行く人が多かったです。

ダイヤモンドヘッドには、朝 5 時にホテルのロビーに集合し、タクシーで行きました。しかし朝 6 時から入山が許可されるため、頂上で日の出を見ることはできませんでした。また、朝 6 時になると同時に多くの観光客が入山するため、頂上では写真撮影のための列ができていま



ました。頂上までの道のりは、勾配が急な箇所があり、途中には長い階段もありました。

ワイキキのビーチは、マウイのビーチより波が低く、多くの観光客がいました。サーフボードを借りることができる店や飲食店、服屋などが多くありました。海で遊ぶ際には、ビーチ周辺に人が多いということもあり、交代で荷物番をしていました。

ホテルの近くには、日本語対応をしてくれる JTB の窓口がありました。そこで、様々なアクティビティーの予約ができるので、そこで翌日することを決めた人もいました。

アラモアナホテルから近いアラモアナショッピングセンターやワイキキのショッピングセンター、ワイケレのアウトレットなどショッピングを楽しめるところは多くあったため、自由時間には、多くの人がショッピングを楽しんでいました。

朝晩の食事は、ホテルで出される訳ではなかったのも、前もって行きたいレストランを探しておくか、パンなどを買っておく必要がありました。大学のある日には、学食で昼食を取りました。

ホノルルで過ごした時間には、時間を有効に使い、様々なところに行く人が多く、各自で計画を練り、楽しんでいました。

6. 渡航の際の注意点 担当：林崎 燎

- eチケットの保管場所をしっかりと決め、留学期間中なくさないようにする。
- ハワイの教室は冷房が強いので、授業の際はパーカーやカーディガンなど羽織れるものを持っていないと、室内外の気温差で体調を崩してしまうこともあるので注意。
- 渡航して2, 3日はハワイの食生活、気候になじめず腹痛や頭痛を起こす人も何人かいたので、常備薬は必ず持参すること。アメリカと日本では、薬の成分が違うので現地調達薬だと逆に体調を崩してしまうことがある。
- クレジットカードを使って買い物するときにパスポート提示が義務化されているお店があるので注意。
- ホテルチェックインの際、ベッドが一つしかないというケースが多々あったので、部屋を変えてもらうように交渉が必要。
- アラモアナショッピングセンターで居酒屋のキャッチのように64ドル程度の高額なサングラスの押し売りをしてくる場所があるので買ってしまわないよう気を付けてください。
- ワイキキでサーフボードなどをレンタルするときは、ビーチの中にあるレンタルはぼったくりなので、ビーチの外のレンタルショップで借りること。
- 入国審査の際渡航目的を留学と答えると、現地でのスケジュールの提示を求められるので、MLIの時間割は必ず手荷物に入れといてください。最悪の場合入国できないよ、と自分も入国審査官に言われたので気を付けてください。
- ハワイの自販機は、1度お金を入れてしまうと、返却レバーを押してもお金が返ってこず、自販機にお金を吸い込まれてしまうことが多いので注意。
- スーパーで買い物をすると、出口でレシートと品物を警備員にチェックされるので、日本の習慣でレシートを捨てないようにしてください。
- ステイ先のファミリーによって、家が土足なのか、靴は脱がなければいけないのか違ってくるので、確認を。
- マウイでは、靴ではなく、クロックスなどのサンダルで学校に行ったりした方が、楽ですし現地の人はほとんどそのような格好で登校してくるので、クロックスなどを持っていくことをお勧めします。
- ステイ先でアメニティーの貸し出しはおそらくあるが、日本人向けではないので、肌や髪に合わないなどすることがあるので、ホテル滞在分だけでなく、ホームステイ分も持っていくことをお勧めします。
- ホノルルよりもマウイの方がアクセサリー、シャツ類は安いことが多いです。
- ホノルル滞在の際予定時間にバスが来ないことが多く、一つのバス停で先行が異なるバスが何種類もあるので、目的地に行くバスの番号をしっかりと把握しておくことが大事です。番号を間違えると、22時までにホテルに戻れないなどの原因になってしまいます。
- お土産をたくさん買うと荷物に収まりきれない人が続出していたので、使い捨てのものをなるべく持っていくといいと思います。

○空港のファストフード店ではメニューを指さしして注文しないと、値段が高い商品が出てくるのではっきり主張してください。